

報 廣 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 大谷孝進 No.115号

町の人口

(4月1日現在)

| | |
|-----|---------|
| 総人口 | 9,008人 |
| 男子 | 4,222人 |
| 女子 | 4,786人 |
| 世帯数 | 2,630世帯 |

ご入学おめでとう —可愛い一年生—

ことし町内の小学校に入学した可愛い園児ちゃんたちは一、二、四人で、上野小学校に四人、市場小学校に七、四人ご入学おめでとうございます。さあ、ことしからは勉強にスポーツにガンバッテ元気なよい子になって下さい。

◎入学児童は次のとおりです。

【上野】
藤村佳代 熊谷美保 熊谷雅

博 山村富数 高津清美 市川克博 城野豊三 石橋教子 永末智 浦田隆生 小屋松直樹 早川保彦 太田美香 太田孝司 定宗聖美 太田文夫 安永久美 太田文博 城元美鈴 浦田一郎 浦田和成 小谷聖香 柴田文夫 太田成美 香月浩一 香月富士枝 太田哲也 太田頼子 沼口裕二 池田やよい 小松マルミ 小松美津江 小松富士江 小松栄子 小松スイ子 小松智



「写真は草場の日高直文氏の二男 幸博君 右が長男 直幸君 五月五日子どもの日に出生してことし揃って元気に市場小へ入学しました。」

毎月第1日曜日は 交通安全の日です

交通安全は、家族による話しあい大切です。日頃から交通安全についての知識を習慣づけることが大切です。

毎月第3日曜日は 家庭の日です

この日は一家団らんであらゆる家族揃って家庭でくつろぎ、青少年の考えや、悩みを聞いて、明るい、健康で明るい子ども達に育つようにつとめましょう。

旧炭鋺地区の 字名は中尾に

赤池町の地区の地名は大きく三地区に、大字赤池、大字上野、大字市場に分けられています。旧炭鋺地区名は土地台帳に「大字赤池字中尾」と名記されています。

現在の旧炭鋺地区は、代表番地が四三二、即ち不動産が明治炭業の資産であるがためです。炭鋺の閉山とともに不動産が個人に売却され、不動産が個人に登記されると個人番地に代わることになりました。

したがって、これからの旧炭鋺地区の呼び名は、「中尾」と呼ばれたらどうでしょう。わたくし達は石炭と共に栄えて来た炭鋺のイメージを、チェンジ(なれた呼び名を交える)することは、なかなか困難です。しかし正しい地名は正しくつかいたいものです。

地区名は行政区名で

地区名を何区とわたくしたちはよくつかいますが、この区名はその地区の財産区の呼称(こしょう)であります。例え、上野の場合は、第一支所から五支所、市場の場合は六支所から八支所、赤池の場合、九支所から二十四支所までとなっています。

したがって、紛(まぎ)らわしい呼称は、つかわないで行政名で呼称したらどうでしょう。

広報綴りを

全戸に配布

従来実施して来た回覧広報は時代の急速な高度進展とともに機能を失ないつつあります。

その理由は住民の大半が昼につき留守家庭が多くなり、夜間に回覧されています。

又役場からの通知は支所長駐在員さんに負担をかけ過ぎないように毎週、火曜日と金

曜日を原則としています。

広報紙を毎月一回発行して物の無駄、時間無駄、即ち通知の量を大幅に削減し、報道の一本化実現に努力いたしています。

広報紙は綴って保存しなす。

後日広報綴りを配布しますので広報紙を綴って保存して下さい。